

研究大学コンソーシアム研究力分析 TF 勉強会

日時： 平成 30 年 6 月 12 日（火） 13:30～

場所： 自然科学研究機構事務局会議室

趣旨： 大学の研究力強化のために、大学執行部から URA に求められる役割の一つとして、意思決定に資する研究力分析があります。研究力強化のため、研究力分析（研究 IR）の実務担当者は、さらに高い分析のパフォーマンスを発揮することが求められていると同時に、分析の結果を分かりやすく、正確に執行部に伝える能力も求められています。本勉強会では、単にスキルや技術を学ぶだけでなく、大学の研究力分析を用いた意思決定のために、教学 IR における優れた取組みを研究 IR にどのように援用するか、また、研究力分析の実務面における取組や、執行部に対するプレゼンテーションの好事例について、講師による講演と、ディスカッションを行います。

プログラム：

13:30－13:40

挨拶： 小泉周 （自然科学研究機構 研究力強化推進本部 統括 URA）

概要説明： 平井克之（新潟大学研究企画室 URA）

13:40－14:50（講演 50 分、ディスカッション 20 分）

浅野茂教授（山形大学）

「IR による意思決定支援～学内外データの活用と可視化を通じて～」

日本の大学等関係者の IR に対する関心は依然、高い状況にあります。一方、組織内の情報を入手できない、あるいは活用できない、といった現状に直面する機関も少なくない現状があります。本報告では、所属機関における IR による意思決定支援の取組事例を紹介するとともに、学校基本調査等の公開データを活用し、無料で利用可能な BI ツールを用いて可視化できる事例などを紹介させていただきます。そのことを通じて、各機関において実践いただくポイントなどを参加者の皆様と共有させていただき、今後の展開などの参考としていただくことを狙っています。

14:50－16:00

片柳薫子博士（農業・食品産業技術総合研究機構）

「Python で広がる世界」

Python はデータ分析用ライブラリが非常に充実していることから、データサイエンティストや研究者の間で近年非常に人気が高まっている汎用プログラミング言語です。本発表では Python がなぜ人気なのか、Python を利用するメリット、実際の活用事例についてご紹介し、Python の魅力を知って頂きたいと思います。また、これから学習を始めたいという方のために、Python の学習法もご紹介します。

16:00－16:30

討論、意見交換

16:30－16:35

挨拶： 小泉周